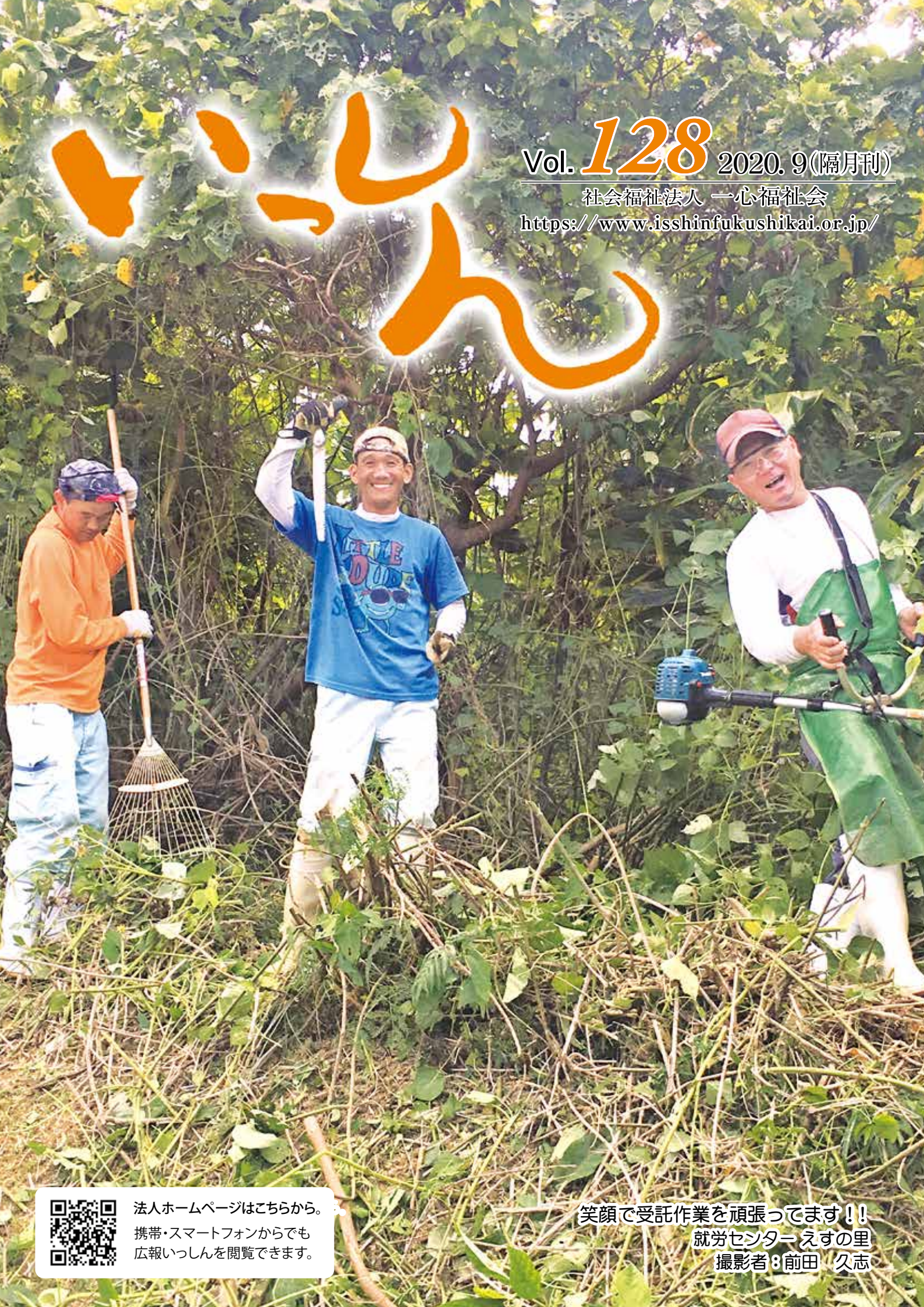


Vol. **128** 2020. 9(隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会

<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>



法人ホームページはこちらから。
携帯・スマートフォンからでも
広報いっしんを閲覧できます。

笑顔で受託作業を頑張ってます!!

就労センター えすの里

撮影者 8前田 久志

ウイルス感染症対策【一心福祉会】

人、しっかりと備える…

一心福祉会ではコロナ感染症に対する対策や準備などを段階的に行ってきました。

七月末には、県立北部病院の医師、感染症対策認定看護師と北部保健所職員を交えて、コロナウイルス感染症が発生に備えた施設環境や対処等のアドバイスを頂き、特にガウン・テクニクは丁寧に指導して頂きました。八月五日には、一心理療護園の嘱託医である宮城辰志先生を講師に、コロナウイルスの実態やどの様に感染するのか、感染リスクや感染予防方法などを指導頂きました。研修後には、一心理療護園で「感染症発生時想定訓練」を実施し、感染者対応を想定した支援を隔離室の設置からからゾーニング、防護服の脱着まで一つ一つ、約束事を確認しながら訓練を行いました。実際に感染者が出た場合、統一した支援対応が出来るかが感染を抑制



練習



防護服着脱の練習



宮城辰志先生による勉強会

するキーになる事、実際の支援の大きさ等を体感しし共有しました。

利用者さんの声

(女性利用者)

家族が元気なのか心配。例年なら家族と一緒に行事などを楽しむ時期なのに、面会も出来ない世の中になってしまい、コロナさえ無ければと思う時もある。施設生活でも、三密を避けた生活になり大変である。少しでも早くコロナが落ち着いて欲しい。

利用者さんの声

(GHホーム男性利用者)

コロナウイルスが沖縄県で確認されてから、余暇支援がなくなつたので寂しい。外泊が出来ないから旧盆も帰れない。家族の顔も見れないし、寂しい。グールプホームの食事時間もお喋りをしたらいけないから楽しく食べられない。早くコロナが収まって元の生活に戻れたらいいな。ワクワク急げ！

職員の声

(三十代男性職員)

現在も家族が互い気を使っている。マスク着用・手洗い・手指消毒の徹底や外出自粛の他にも一家団薬を避け食事や寝床も別々にするなどの対応を継続しながら生活を送っている。

感染への恐怖と向き合いながら仕事や制限のある生活を送る事は通常の生活に比べると、とてもストレスを感じるし、ネガティブになりやすい。最近では身近な地域にも感染者が出ており、目の前までウイルスが来ていると思うと、非常に怖い。緊急事態宣言が終了し、また新しい生活様式の中での日常生活に戻る事をモチベーションに耐えているがこれが永遠と続くとなると辛い一言である。



「コロナと向き合っている皆さんの声」



第3弾

新型コロナウイルス

コロナを正しく知り

コロナウイルス感染症対策の現状と今後の課題について

現在までの対策・取り組み

- ・衛生用品や防護服等の調達
- ・コロナウイルス感染症に対する情報発信と注意喚起（第1弾まで）
- ・新型コロナウイルス感染症対策マニュアルと感染者発生段階（県外・県内・北部圏域・施設内）ごとの対応フローチャートを作成
- ・嘱託医【宮城辰志先生・金城英興先生】との情報交換と助言
- ・コロナウイルス感染症に関する勉強会
- ・ガウン・テック・ニットの訓練（各拠点で実施）
- ・対応フローチャートに添ったコロナウイルス感染症予防の徹底（三密を避ける・面会や外出・外泊の自粛等）
- ・感染症発生を想定した訓練の実施（ゾーニング体制作り）

今後の対策や課題

- ・これまで行った対策・取り組みの確認や復習
- ・感染者発生時における法人内の支援体制（人的支援）
- ・Withコロナに考慮した利用者さんへの安心・安全な日常生活の支援体制（日課の見直し等）
- ・新しい生活様式を習慣化する（法人職員）



感染症発生を想定した訓練



ゾーニング体制の確認

地域の中学生へ福祉を伝える

やんばるの家

七月七日、大宜味中学校にて中学二年生を対象に福祉の仕事とは？を目的とした総合学習の授業で「ありがとう、心のキャッチボール」をテーマに発表を行いました。

一心福祉会の歴史や現場での体験談など説明を行い、生徒たちが想像している高齢者の特徴など、質問コーナーを設けました。

質問コーナーでは、日常生活の中で皆さんも無意識に「ありがとう」と心から伝えていない状況もあるのではないのでしょうか？「ありがとう、心のキャッチボール」を議題に、このご時世だからこそ支えあい、助け合いの中

で生まれてくる、心から「ありがとう」という言葉が多く伝えられる日常を大宜味中学校生徒の皆さんに期待しています。



熱い思いを伝えました

七夕～短冊に願いを込めて～



デイサービス

思いを込めて飾りました

七夕とは新月から七日の夜のことで諸芸の上達を祈って短冊を書き、笹の葉にけがれを乗せて祓う風習が今に残っています。七夕は本来祖先を偲び代々身体を受け継ぐことの意味を知る「命の儀式」だそうです。笹竹を飾るのは日本独自のもので、なぜ笹竹なのかという昔から笹竹は神聖なものとしていら

た。天に向かつてまっすぐ伸びる力強さと生命力から精霊や神様が宿る依代と考えられていたそうです。七夕には短冊以外にもさまざまな飾りがありますが、千羽鶴は家族が長生きしますようにとそれぞれ意味があるようです。願い事を書いた短冊を飾る風習は江戸時代に生まれたそうです。大宜味村では七月七日は本源的な意味は畑作の収穫を感謝する日であるが祖霊的な意味合いも強く残っており一門墓に参り墓の周囲を綺麗にする風習が残っています。又、過去一年間に死んだ者特に水死者の霊を弔う所もある様です。各事業所でも短冊に思い思いの願い事を書いて飾りました。

願いを届け!



小規模 いっしん



グループホーム えすの里

僕達、私達の思いを届け～♪

夏はやっぱりソーめん流し



ソーめん流れてこないよ～



グループホームつつじ苑では七夕のイベントで夕食を兼ねて施設の外でソーメン流しを実施しました。久しぶりの外の風は心地よく皆さんも楽しそうにソーメンを頂いていました。利用者の皆さんも「外で食べるというくらいでもお腹に入ります」と笑顔で話されていました。



沢山とれたね！



七タランチ



土用の丑の日ランチ



デイサービスの手作り野菜いかがですか？

デイサービスでは今年、キュウリ、トマト、うりずん豆、オクラ、ゴーヤーの苗を植え沢山の野菜が実っています。その中でもキュウリが豊作で毎日五本以上収穫でき、毎日採りたて野菜をくじ引きして当たった方や午後のゲームでの賞品としてプレゼントしています。利用者様にとっても喜んでもらいたい、「次回のゲームでは当るように頑張ろう」とやる気にさせてくれるようです。

デイサービスのあつたいぐあ

行事食の紹介

やんばるの家

やんばるの家では、七夕の日と土用丑の日にちなんだ行事食を提供しました。気温が暑くなってきた中、七夕には涼しげでのどごしの良い「七タソーメン」を。土用丑の日には「うなぎ蒲焼き丼」を提供しました。普段はなかなか出ないメニューなので喜んで召しあがっていました。また、提供時に添えたプレートも「上等だね」や「貰ってもいいの？」など嬉しい言葉もたくさんあります。日々の食事から季節の変化を感じて頂けるようこれからも取り組んでいきたいと思っています。

夏野菜の収穫

GHきじよか

グループホームきじよかでは五月に野菜の苗を購入し、利用者と一緒に植え付けを行いました。今ではゴーヤー、オクラ、キュウリが収穫できる食材として活用し利用者も美味しいと食されています。

介護員 比嘉 潤治

ふるさと(自宅)訪問

やんばるの家

東村出身者が川田・宮城へコロナ対策万全でドライブに出掛けました。我が家が近づくのとそわそわし「もう草が生い茂ってどうなってるかね」など心配して居ましたが、家を見つけると「ここで豚を養っていたんだよ」と昔話を沢山聞かせてくれました。喜ぶ顔が見れて私達職員も嬉しく思います。

介護員 運天 由紀野



主のいない自宅前にて



オクラを収穫しました～♪

家族のこと
実家は農業はしてな
かったんで、嫁いだ先で
のキビ刈りなどの農作業
は慣れずにちよつと辛



やんばるの家人所者
山城 ツルさん（98歳）



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」（ライフヒストリー）と題してご紹介する企画です。



やさしい夫の両親



旅行好きの夫、寛助さんと

かったですが、主人の母
はとっても優しくて神様
みたいな人でした。義父
はお酒が好きで一升瓶を
枕もとに置いておくほど
の酒飲みでしたが、「ねえ
さんがいうぬぐとう（言
う通り）」と言って大事に

されました。夫もやさし
い人で区長も二期務め地
域のために働きました。

踊りが大好き

家族の理解もあり、嫁
に行つてすぐ踊りをはじ
めました。

塩屋海神祭（ウングミの
踊り）や婦人会での踊
り、民謡愛好会「なかよ
し会」に所属し八十五歳
まで舞台に立ちました。
婦人会では大宜味村は上
手で中央の大会に出演し
てタイムスホールで踊つ
たのが一番の思い出で
す。指導は平良正子さん
がしてくださったという
記憶があります。雑踊り
「めでたい節」が好きで
した。四つ竹など小物を
もつて、揃いの着物を着
て踊った写真がたくさん
あります。まだまだ踊り
は続けたいと思っていま
したが、仲間が一人減り
二人減りしてできなくな
りました。今でも歌を口
ずさんたり、民謡が流れ
てくると思わず手が動
きます。

（本人に聞き書き）

両親とも優しく子供の
ことを一番に、好きなこ
とを何でもさせてくれま
した。母は料理が得意で
運動会のお弁当を隣の
から褒められたのが今
でも記憶に残っています。
大家族の長男嫁として盆
正月は五十名分ほどのご
ちそうをシンメナー
ビー（大きな鍋）に作り
接待するのが好きでした。

娘・富子さんから見てツルさんは？

おばあちゃんを自宅で
最期まで介護もしました。
今の私の目標は母です。



いつもやさしい笑顔のツルさん



民謡愛好会の皆様



楽しい川遊び

えすの里

えすの里ではコロナウイルス感染対策を講じた上で東村の福地公園に行き、川遊びを楽しみました。当日は天気にも恵まれ川の水量も冷たく澄み渡って中に入ると、とても気持ちよかったです。水鉄砲やビーチボール・カヤックで遊んだり、網でエビやカニ、小魚を獲ったり等、利用者さんそれぞれ楽しまれました。



まんぷく～

公園内は芝生や遊具も綺麗に管理されており、食事の後は各々公園内の遊具等で遊び、最後は川遊び名物、スイカ割りゲームをして、見事に割れたスイカは全員で美味しく頂きました。



職員も一緒にイェーイ



たのし～

真夏の果実

就労センターえすの里

今年もやってきましたこの季節！えすの里マンガーは大盛況のなか無事に収穫・発送を終えました。

四年前から枝が伸び放題の老木に大掛かりな強剪定を入れ、樹精の回復と作業の効率化を図るため樹形改造に取り組んでいました。その間は収量が落ち込んでいましたが、今年から見事復活を遂げました。

来年も皆さんに美味しいマンガーが届けられるように、利用者・職員協力して頑張ってきますので、また買ってね。

吉田 卓也



手塩にかけた、マンガーです。

やんばるの風

アラシロ ショウコさんが一心療護園に帰ってきました。

アラシロ ショウコ

私はクーラーが嫌いです！

クーラーがというより、締め切った部屋にいるのがイヤなんです。

ただでさえ回転の悪い我がオツムが、風通しのよくない所にいると頭脳に空気がいかなくて、ますます働きが鈍くなってしまうのです。

よって、クーラーのフル活動する夏場は我が脳みそもフル休業してしまうのである。

以前住んでいた家は、掘り鉢の底のような地形にヤギ小屋にガラス戸が立ったような家で、クーラーなる文明の利器などは導入されておらず、扇風機だけをひたすら回し暑い夏をしのいだもの：それでも、それなりに涼しくて熱中症だの熱射病だのという単語も聞かえなかった。

しかあーし！夏の寝苦しい夜のクーラーは最高の安眠提供者である。台風が小さい秋を届け

てくれたような気がする。情熱的な夏の太陽もちよっぴり和らぎはじめ、朝夕山々から吹く風に秋の匂いがする。

やんばるへ来てびつくりしたのは、風の奏でる音の大きさ、北風が木の葉や、建物にあたって大きな音を立てて吹く、まるで牛若丸がサククスでも奏でているかのような音がする。これまではバイクの騒音は聞いても、風音なんぞは経験ないもの、当初は騒音にしか聞こえずにいた風の音も、今やコンサートを聴くかのような心地よい音になってしまっている。

締め切ったガラス窓を全開にして、秋の匂いのする風、やんばるの風を部屋いっぱいになりたい今日このごろです。





一心療護園で生活されている金城園子さん!!

コロナの時期も趣味の折紙や、ぬり絵に没頭!!
そして遂に居室が園子さんの作品会場になりました♪



何の花でしょう?

ヒント

ショウガ科の多年草植物
日本最大の産地は沖縄!

コンビニ等にも売っている、酒を飲む時に必需品
「〇〇〇の力」が有名。
答えは、この面の左下を見て下さい。

アラシロ ショウコ

新城昌子さんが 一心療護園に 帰ってきました。

トピックス

アラシロ ショウコさんは、前回一心療護園を利用されていた頃から「広報いっしん」に自作のポエムを定期的に掲載しており、どれもユーモアあふれる素晴らしいポエムでした。

今回は定期掲載に協力して頂いています。乞うご期待!!



ネジ巻いて
戻ってまいりました。
以後よろしゅうに。
アラしゅこ

衛生委員会よりお知らせ

8月1日に、一心福祉会の産業医が決定致しましたのでお知らせします。

産業医 国頭村立診療所

いさやま よしと

「諫山 義人」先生。

今後とも、職場環境を整えよりよいサービスの提供や安心・安全な職場作りに取り組みます。

先生よろしくお願いいたします。

◇◇◇◇◇ 一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況 ◇◇◇◇◇

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホーム やんばるの家 (☎0980-44-2288)	50名	0名	31名
デイサービスセンター やんばる (☎0980-44-2033)	33名(1日)	1～2名	2～3名
小規模多機能ホーム いっしん (☎0980-44-2662)	25名	3名	0名
グループホーム きじょか (☎0980-44-3015)	9名	0名	2名
グループホーム つつじ苑 (☎0980-43-3800)	9名	0名	2名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

令和2年9月1日現在